

テクノバード [フライトシミュレーターセンター]への想い

皆さま、初めまして、代表の伊藤世一と申します。

私自身、ラインパイロットになることは幼い頃からの夢でした。小学生の頃、よく母に連れられ父の出張の送り迎えで大阪国際空港に行ったこと、父と乗った B727 や DC-8 でのフライトの思い出がきっかけだったと思います。しかしながら家業の事情などからパイロットになる夢は断念せざるを得ませんでした。

空への想いを胸に閉じ込めたままカリフォルニアの大学院で経営学を学んでいた時、頻繁に飛び交う飛行機を眺め、ラインパイロットにはなれないけれど自分も空を飛べることを自分自身に証明したいという思いを強く持つようになりました。そして、なんとか資金を工面し、大学院での勉強の合間を縫ってフライトスクールに通い始めたのです。

初めて空へ飛びたったのがサンフランシスコ近郊のヘイワード・エグゼクティブ空港の 28 レフト滑走路でした。もう 30 年程前のことになりますが、この時の感動は、今も指先の感触まで鮮明に覚えています。

このフライトをきっかけに、自分自身の人生に目覚めたといっても過言ではありません。飛行機は私の人生にとってのかけがえのない自信を授けてくれました。

その後職業パイロットにはなりませんでしたが、飛行機を通して人生にとって大切な様々なことを学ぶことができました。自分自身に脈々と流れる飛行機への想いは、航空業界への恩返しへの気持ちとなり、テクノバードとして結実しました。

このシミュレーター事業が、皆さまの知的好奇心をかき立て、多くの人と航空業界の接点となり、人と人の出会いの場となり、新たにドラマが始まることを切に望みます。

伊藤世一

